

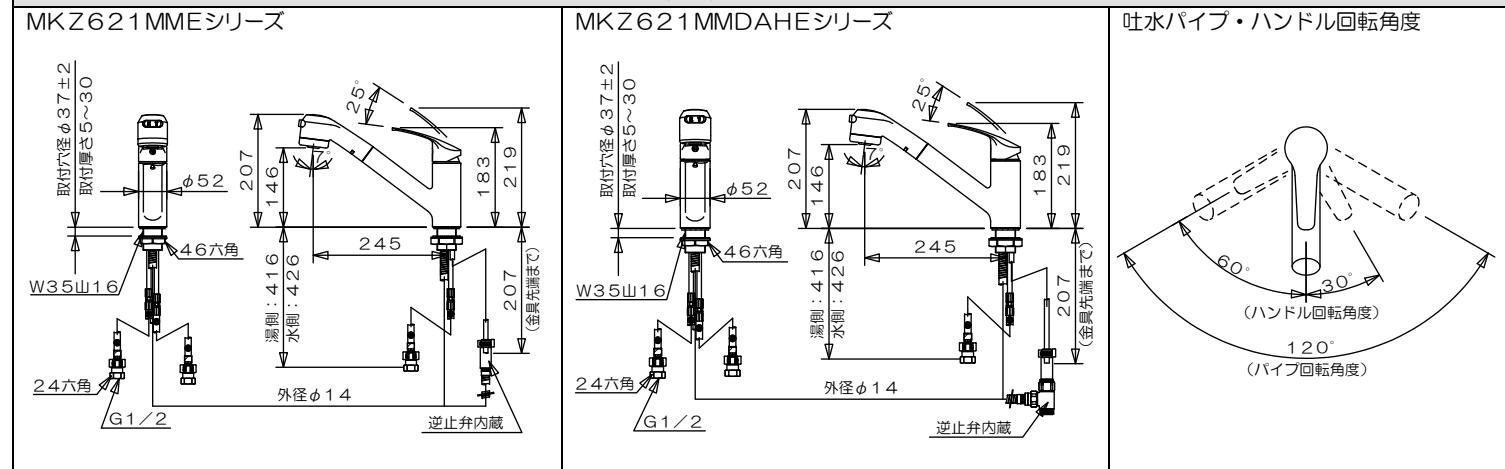
工事説明書

台付シングルレバー湯水混合栓（シャワ）

- MKZ621MMEシリーズ
- MKZ621MMDAHEシリーズ（寒冷地形）

保証書にお取付店名、お取付日を必ず記入下さい。また、この取扱・工事説明書は直接お客様に手渡して下さい。

外観寸法図



給水・給湯 圧力	最低必要圧力	0.05 MPa
	最高圧力	0.75 MPa (静水圧)
	適正圧力	0.2~0.3 MPa
推奨給湯温度		60°C
使用可能水質		水道水及び飲用可能な井戸水（※）
用途		一般住宅用

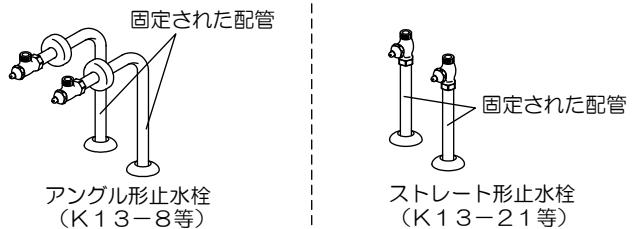
- 給水圧が0.75 MPaを超える場合は、市販の減圧弁を設置して適性圧力（0.2~0.3 MPa）に減圧して下さい。ウォーターハンマーや流水音が低減します。
- 給水圧は給湯圧力と同等もしくは高く設定して下さい。
- 誤作動などによるやけど防止のため、60°C給湯をおすすめします。
- 高温でのご使用は水栓金具の寿命を短くし破損や水漏れの原因となります。
- 給湯配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いて下さい。
- 湯・水を逆配管しないで下さい。
- 給湯に蒸気を使用しないで下さい。
- 水栓取り付け前には必ず配管内の清掃を行い配管内のゴミ、砂等を完全に洗い流して下さい。
- 温度調節を容易にするために給水、給湯圧力の差圧はなるべく小さくして下さい。（※）飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいう。

器具の取り付け

取り付け順にしたがって確実にお取り付け下さい。取り付け後は本管を開き、締め付け各部からの漏れの無いことを確認し、実用テストを必ず実施して下さい。

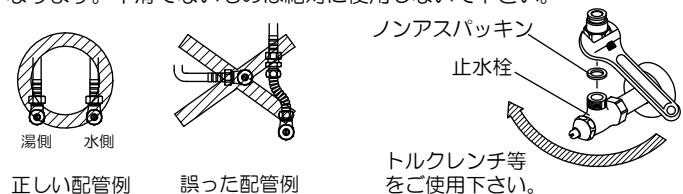
1 湯側・水側の配管に止水栓（別売品）を取り付けます。

- 止水栓は固定された配管に取り付けて下さい。
- 流量調節や保守点検のため、必ず取り付けて下さい。



2 アダプターを止水栓に固定します。

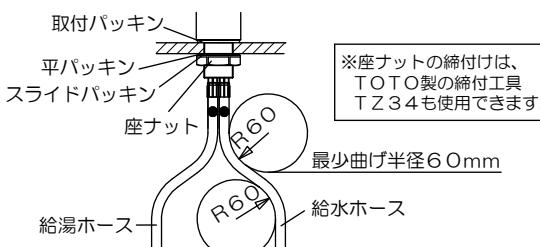
- アダプターは1960⁺⁵⁰⁰₋₀N·cm (=200⁺⁵⁰₋₀kgf·cm)を目安に締め付けて下さい。
- アダプターと止水栓の間に、付属のノンアスパッキンを必ず入れて下さい。
- ノンアスパッキンの取り付けは、取り付け面が平滑でないと漏水の原因になります。平滑でないものは絶対に使用しないで下さい。



3 混合栓本体を天板に固定します。

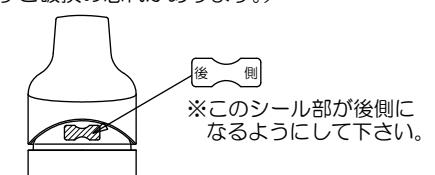
- 混合栓本体の保持にはTOTO製・混合栓本体締付保持工具:「TZ36」などを使用して下さい。（レバーハンドルや吐水パイプで保持しないで下さい。）

※給水・給湯ホースは大きな曲げ半径（最小曲げ半径60mm以上）で曲げ、アダプターへ接続して下さい。

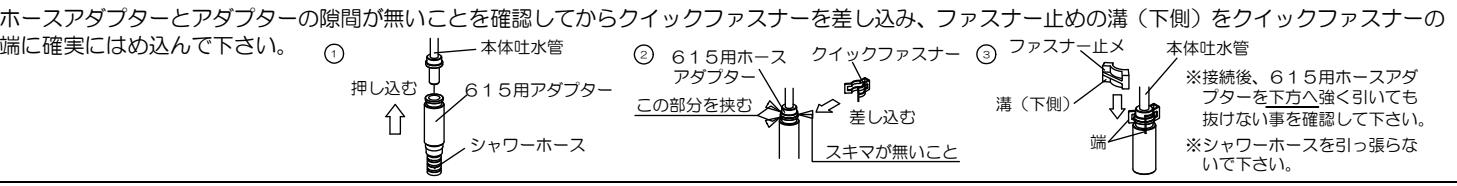
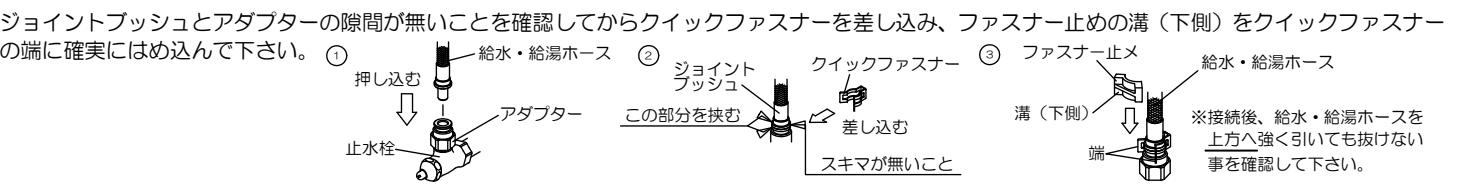


- 本体の設置は、「後側シール」部が必ず後側になるように取付けて下さい。

※レバーハンドルの幅は左右で違うため、レバーハンドルの位置を目安にして取付けて下さい。※本体を固定する際、レバーハンドルや吐水パイプを持たないで下さい。（それらを持って締付けますと破損の恐れがあります。）



4 給水・給湯ホースをアダプターに、シャワーホースを本体に接続します。



取り付け後の点検・調整

※給水・給湯ホースは上方へ引いて、ホースアダプターは下方へ引いて、外れないことを確認して下さい。

※水栓の出し止めを数回繰り返し、配管接続部および水栓から水漏れがないことを確認して下さい。

※天板の上から水栓に対し、水をかけてキャビネット内に浸入しないか確認して下さい。

※吐水口部をはずし、泡沫内芯をよく水洗いして砂、ゴミなどを完全に取り除いて下さい。（取扱説明書参照）

※お使いいただく現場で適量、適温が得られるよう止水栓で調整して下さい。水の流量を湯の流量の1.5倍程度にすると温度調節がしやすくなります。

点検項目

使用中に異常が生じた場合は次の項目を点検し、調整して下さい。

異常な状態	点検・調整
吐水量が少ない	①止水栓が閉まりすぎていなければ、ドライバー等で調整する。 ②整流器、整流アミにゴミが詰まっているか（分解図参照） ③給水・給湯源に異常はないか。
高温あるいは低温しか出ない	①止水栓が閉まりすぎていなければ、ドライバー等で調整する。 ②熱源が正常に作動しているかどうかを確認する。また、給水圧力に大幅な変化が無いか確認する。

分解図

万一故障等で分解される場合は下図をご参照下さい。

